

第 5 回 和歌山県河川整備審議会 河川環境部会要旨

議事 1. 平成 30 年度切目川ダム環境モニタリング調査結果について

内容について了承。

委員の主な意見

- ・水生昆虫の種類を細かく分類し、底質の変化と水生昆虫の関係を調査するなど物理環境の変化と生物相の変化を対応できるようにデータ整理すること。
- ・ハエ目が増えているというのを受けて、ウォッシュロード成分の挙動がどうかということも少し注目すること。
- ・可能であれば委員が調査に関われるよう連絡調整すること。
- ・カジカガエルの生息域がダムにより遮断されている。今年度の調査結果を待ちたいが、生き物の変化というのは人間の活動の年数を超えたレベルでの変化というのがあるため、もう少し追跡をしていただきたい。
- ・資料に記載されているカスミサンショウウオは、今年の 4 月に和歌山県の紀の川から北側にいるカスミサンショウウオはヤマトサンショウウオ、和歌山県の紀の川から南にいるカスミサンショウウオはセトウチサンショウウオという和名に変わった。誤解を招く可能性があるため、以後正確に記入すること。

議事 2. 切目川ダム事後監視調査の総括の方向性（案）について

提案通り了承。事務局で総括（案）の作成を進める。

委員の主な意見

- ・流域の住民及び、利水関係者、漁業関係者の方々等から実感・意見等も取り入れていただきたい。
- ・鳥類は生態系の中では食物連鎖の上位のほうに位置している種が多いため。様々な影響があらわれやすい分類群でもある。可能ならば毎年ではないが、長期的に調査していただきたい。

日 時：令和元年 6 月 5 日(水)15 時 30 分～16 時 46 分

場 所：日高振興局総合庁舎 別館 2 階大会議室